

## 審議会会議録

会議名称	令和3年度第1回大滝区地域協議会		
議 題	報告第1号 令和3年度予算について（大滝区関係分） 議案第1号 伊達市過疎地域持続的発展市町村計画（案）について		
開催日時	令和3年7月16日（金） 午後3時00分～午後3時30分		
場 所	伊達市大滝総合支所 1階 防災多目的ホール		
出席者	出席者10名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1. 開会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告</p> <p>2. 市長あいさつ 大滝の地域づくりはやはり観光が一番大きな柱になると考えている。過疎債を活用して今後は旧北湯沢小学校を解体して定住促進住宅を整備するなど、できるだけ住める地域を増やしていきたい。ただ、土砂災害警戒区域であるので、北海道と協議しながら進めていきたい。効率性を発揮させなければ人口減少の中でどんどんコストが上がっていくので、それらを踏まえて進めていきたい。過疎債をいかに活用するかということが重要なので、本日は令和3年度予算についてと市町村過疎計画（案）についてご審議いただき、今後進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>3. 会長あいさつ 本日は初めて30度超えという大変暑い中ではございますが、鋭意務めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いします。 新型コロナウイルスについては、今週、12、13日に大滝区のワクチン接種2回目が終わりひと安心してるところです。 若干感染者が増えてきている状況だが、何とか抑えて皆様がマスクを外して安心して生活できる日がくることを願っています。</p> <p>4. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に今井委員、滝澤委員を指名</p>			

## 5. 議題

報告第1号 令和3年度予算について（大滝区関係分）  
事務局より説明（別紙資料のとおり）

### ○質疑応答

会 長：質問、意見等はありませんか。  
委員全員：〈なし〉

議案第1号 伊達市過疎地域持続的発展市町村計画（案）について  
事務局より説明（別紙資料のとおり）

### ○質疑応答

会 長：質問、意見等はありませんか。

委 員：パブコメの期間を短縮した理由と本来はどのくらいの期間なのか。  
また、大滝区内の人にはどのくらい周知しているのか。

事 務 局：策定スケジュールや起債申請などの関係でパブコメ期間を短縮したもの。  
本来は30日間。今後、説明会などは特に予定していない。大滝区内では  
大滝総合支所、基幹集落センターにパブコメ資料の設置をしている。

委 員：計画を策定するにあたり外部等の意見は反映されているのか。

事 務 局：国の法律の施行が今年の4月1日だったためスケジュール的に難しい。  
新たに計画を策定する時間的な余裕が無かったので旧過疎法の計画を時点  
修正するような形で策定、市民周知については、パブコメとこの地域協議  
会とさせていただいた。

市 長：この計画は5か年の計画であり、策定後も変更は可能である。何か意見な  
どあれば言っていただき反映させるよう努めたい。  
先ほど言い忘れたが大滝での最大の財政的課題はケーブルテレビだ。通信  
環境などの変化で容量が足りていない。設備更新に約16億必要と試算し  
ているがすべて自前となってしまう。過疎債など国の支援を利用して整備  
していきたい。

委 員：子育て環境について、乳幼児の保護者は遠くに外出することができないの  
で大滝区内で自主サークルなどをやっているが伊達の支援センターのよう  
なところがない。大滝区内で乳幼児と保護者が安心してあそび集える場  
所がほしい。集落センターの遊戯室の滑り台等が古くなってきている。  
また、乳児検診を大滝でやってくれていて大変ありがたいが、今回、新型  
コロナウイルスの関係で延期ではなく中止になってしまい残念だ。

市 長：今の話を担当部署に伝え対応を検討する。  
子育て支援センターとも少し違うと思うので、預かり保育がいいと聞いて  
いたが、今ある施設をどう改善すればいいかなど担当部署に対応させたい。

委 員：公共交通について、大滝区は空白地域。私も何年か前まで空白地域の公共  
交通についていろいろ勉強していた。車を登録してドアトゥドアで市街の  
病院への通院や買い物にいけるという交通空白地域有償運送制度があっ  
て、使いやすくなっているという話を聞いている。地域おこし協力隊を活  
用すれば大滝区には適当な制度ではないか。  
林業だが、木を切って売るだけでなく山林にはいろいろな可能性があり、  
地域活性化のために山林を活用した観光などのソフト事業を考えている。  
林業は国の補助はあるが、市からも補助できないものか。

- 市長：地域公共交通について、現在道南バスと連携して運営している今後はデマンドに近いものを担当で検討している。  
制度としては我々だけでは決められないので区民の皆さんや事業者の同意も必要であり、そういう手続きを踏んで進めたい。  
林業については、補助金ありきの現在の林業では産業として経営が成り立たない。補助金を使ってというのは難しいのではないか。
- 委員：山林を使ったいろいろな活性化策がある。林業というよりは色々つながっているのでそういったことも含めて検討してもらいたい。
- 市長：従来の林業とは違った視点で考えなければならない。  
住みやすい環境の整備など、例えば家賃が安いとか子育て環境の話もあったが重要な事柄であり、広い視点で住環境を整備する必要がある。
- 会長：他にないようですので、事務局からその他の事項で何かありますか。
- 事務局：次回の協議会についてですが、秋頃に開催を予定しているので、よろしくお願いたします。

○閉会